

教職課程について

1. 教員の養成の理念

本学が理想とする教員養成とは、教育のプロに求められる「確かな力量」はもとより、本学の建学の精神である「報恩感謝」に基づく「感謝する心」「他者とともに生きていく心」を持つ豊かな人間性を備えた人材の輩出にほかなりません。

この理念を掲げる本学の教職課程は、以下の二つを目標とします。

- 一、幼児・児童・生徒への深い理解にもとづいた教育を実践できる教員を育成。
- 二、保育・授業技術に加え、学級経営や幼児・児童・生徒指導における高い実践力をもつ教員を育成。

2. 教員の養成に係る組織及び教員の数

教育職員養成課程（以下「教職課程」という）の運営は、「教育職員養成課程委員会」が中心となり教職課程が設置されている各学部・学科と教職教育センターと連携して行っています。教育職員養成課程委員会は、教職課程の授業を担当する教員の代表で構成され、豊かな現職経験を有する委員長を中心に、免許状の取得に向けて親身な指導・援助体制を築いています。また、教員採用に向けては、「教職研究開発委員会」「教職対策委員会」が中心となり、「教員になりたい」という学生の願いをかなえるため、入学直後からの支援体制を整備しています。

教員につきましては、ホームページの教員一覧をご覧ください。

教育職員養成課程委員会

委員長	岩井 晃子	教育学部教育学科	教職教育センター長
副委員長	東 典幸	文学部日本語日本文学科	
副委員長	久保山力也	人間社会学部人間社会学科	
	狭川 真一	文学部歴史文化学科	
	馬部 隆弘	文学部歴史文化学科	
	小山 敏子	教育学部教育学科	
	奥菌みどり	教育学部教育学科	
	井上 寿美	教育学部教育学科	
	五位塚和也	教育学部教育学科	
	荒井 洋樹	教育学部教育学科	
	地下まゆみ	教育学部教育学科	教務部長
	神部 智司	人間社会学部人間社会学科	
	宮内 一三	人間社会学部スポーツ健康学科	
	三木 伸吾	人間社会学部スポーツ健康学科	

3. 教員の養成に係る授業体制

教員養成に係るカリキュラム、シラバスについては在学生の方、保護者の方の欄の閲覧用シラバスをご覧ください。

4. 教育職員免許状（以下「教員免許状」）取得に関すること

本学で取得できる教員免許状

文学部	日本語日本文学科	中学校教諭 1 種免許状（国語）
		高等学校教諭 1 種免許状（国語・書道）
	歴史文化学科	中学校教諭 1 種免許状（社会）
		高等学校教諭 1 種免許状（地理歴史）
教育学部	教育学科	幼稚園教諭 1 種免許状
		小学校教諭 1 種免許状
		中学校教諭 1 種免許状（国語・英語）
		高等学校教諭 1 種免許状（国語・英語）
		特別支援学校教諭 1 種免許状 （領域：知的障害・肢体不自由・病弱）
人間社会学部	人間社会学科	中学校教諭 1 種免許状（社会）
		高等学校教諭 1 種免許状（公民・福祉）
	スポーツ健康学科	中学校教諭 1 種免許状（保健体育）
		高等学校教諭 1 種免許状（保健体育）
大学院 文学研究科	国語学国文学専攻	中学校教諭専修免許状（国語）
		高等学校教諭専修免許状（国語）
	歴史文化学専攻	中学校教諭専修免許状（社会）
		高等学校教諭専修免許状（地理歴史）
専攻科	教育専攻科	幼稚園教諭専修免許状
		小学校教諭専修免許状
		中学校教諭専修免許状（国語・英語）
		高等学校教諭専修免許状（国語・英語）

令和3年度教員免許状取得人数

288人 学部生285人 専攻科生3人

	幼稚園		小学校		中学校	
	専修	1種	専修	1種	専修	1種
授与件数 (件)	0	123	3	144	0	92
	高等学校		特別支援学校		合計	
	専修	1種	専修	1種	専修	1種
授与件数 (件)	0	97	0	48	3	504

5. 教員の養成に係る教育の質の向上

[教師のお仕事入門]

主に1回生を対象に学校現場を訪問し、学校の様子を知るとともに生徒との交流を深める中で教師の仕事を手近に体験します。

教育実習や学校支援学生ボランティア、インターンシップ等で現場に行く前の段階に、学校の様子を知ること、教職への意欲向上に繋げることを目的としています。

[インターンシップ]

教員に求められる自らの資質や能力を向上させ、教員としての実践力を身につけることを目的とする科目です。学生たちは事前指導を受けた後、自分自身で目標を設定し、終了後に目標が達成できたか自分自身で振り返るとともに互いの活動の成果を発表します。

活動から学んだことを生かし、自分の適性や能力、学びのモチベーションを高め、教育実習へとつなげていきます。

[学校支援学生ボランティア]

教員を目指す学生たちが、教育の推進や活性に寄与することを目的として活動しています。ボランティア活動に参加するにあたり、学生たちは、「説明会・研修会」へ参加し、学内登録後に活動を開始します。活動先の教育方針や目標を理解したうえで、指導教員のもと補助活動や行事の支援等を行います。

活動終了後は活動終了報告書を提出し、年度末に修了式で活動の成果を確認し、修了証を受け取ります。